

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に
基づく感染症発生動向調査より

目次

1 発生動向総覧	P1～5
2 保健所別の警報状況	P5～6
3 指定届出機関からの特記事項欄コメント	P6～7
4 全数把握感染症集計表	P8
5 定点把握感染症集計表	P9～13
6 定点把握感染症推移グラフ	P14～18
7 定点把握感染症集計表(月報)	P19～22
8 定点把握感染症推移グラフ(月報)	P23～24
9 本県の新型コロナ及びインフルエンザの感染状況の 推移等のグラフ	P25～39
10 新型コロナ変異株ゲノム解析結果について	P30～31

(参考)

新型コロナウイルス感染症に関する情報は、P2、P9～11、P13、P16、
P25～27、P30～31に掲載しています。

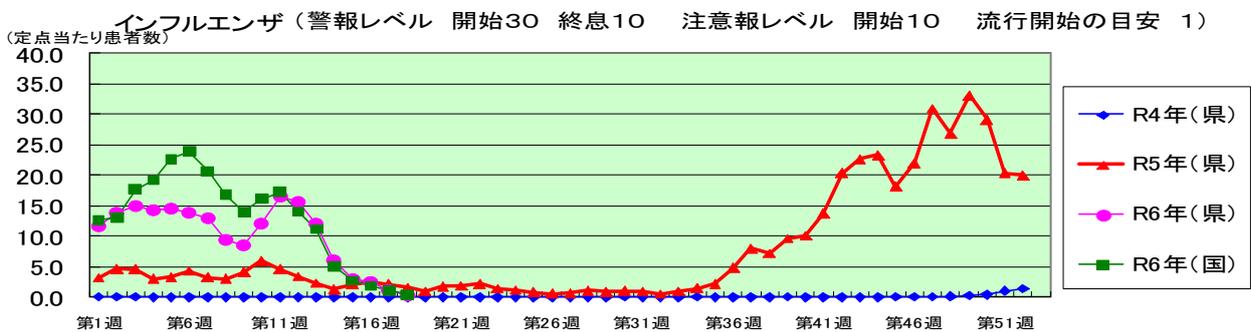
1 発生動向総覧

インフルエンザが流行レベルを下回りました！

第18週のインフルエンザの定点医療機関あたりの1週間の患者数が1を下回り、**長期間続いた流行レベルが終了**しました。

インフルエンザの定点当たり患者数は、1.44となった2023年第34週(8月21日～8月27日)から、2024年第17週(4月22日～4月28日)まで、流行レベルの目安とされる1以上の期間が続いていましたが、2024年第18週(4月29日～5月5日)は0.38と減少し、1を下回りました。

県内で流行レベルが36週間続いたのは、記録が残る2002年以降、初めてです。(これまでの最長は、2016年第47週(11月21日～11月27日)から2017年第20週(5月15日～5月21日)の26週間)

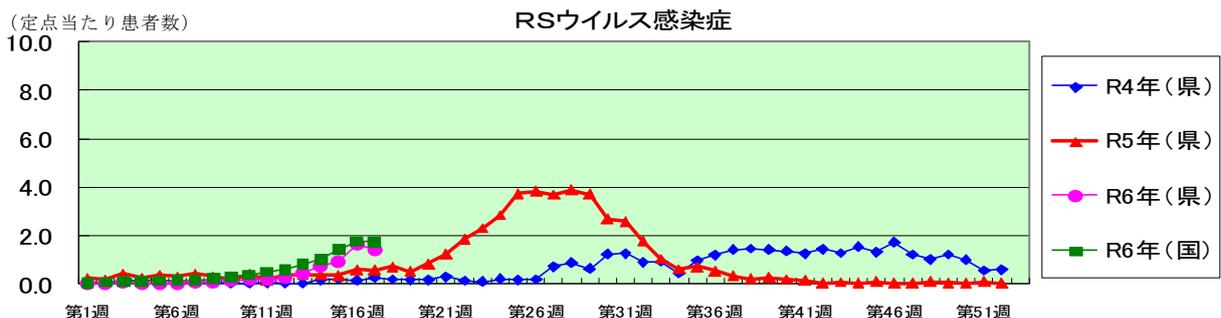


RSウイルス感染症が県内で流行しています

県感染症管理センターでは、RSウイルス感染症の定点医療機関あたりの1週間の患者数が1以上になると、確実に流行していると考えています。2023年は、第21週(5月22～28日)に1以上となりましたが、今年**は5週早く**、2024年第16週(4月15日～4月21日)から、1以上となっています。過去には、いったん1以上となると、11～18週間1以上の流行が続いています。

RSウイルス感染症は、咳・くしゃみの飛沫感染や鼻水・唾液の接触感染で感染し、症状は発熱、鼻汁、咳嗽、喘鳴です。

年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむことが多いですが、乳児や基礎疾患のある高齢者が感染した場合は急性細気管支炎や肺炎となり、呼吸困難で入院する場合があります。咳・鼻水の症状のある方はマスクをし、手洗いを励行しましょう。

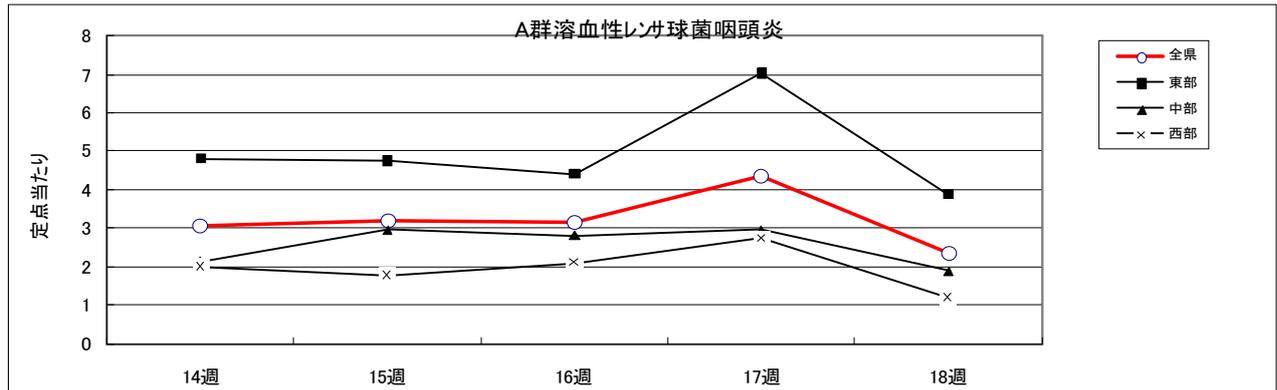


【今週のコメント】

第18週(4/29～5/5)の感染症発生動向調査では、静岡県内のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が2.37人となり、前週の4.35人から減少しました。新型コロナも報告数が1.99人となり、前週の2.92人から減少しています。インフルエンザは報告数が0.38人となり、流行期入りの目安である1を下回りました。

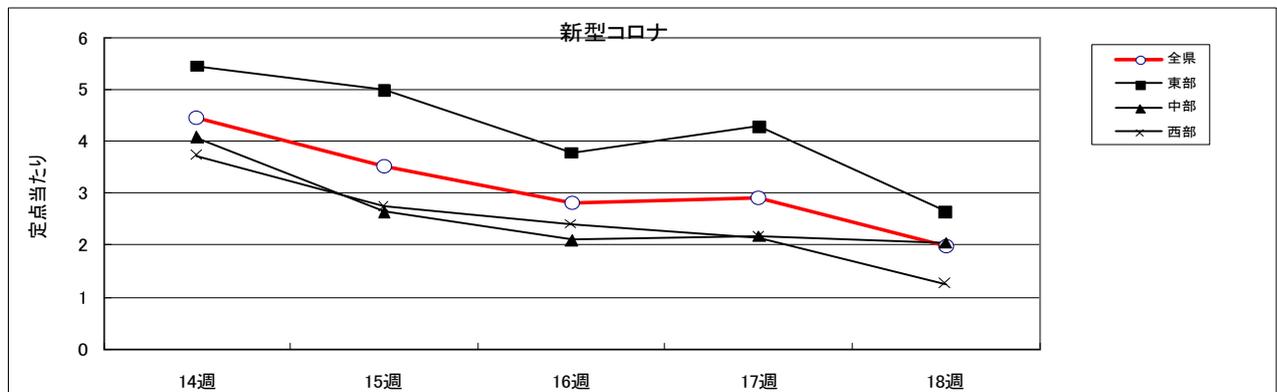
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数211、定点当たり2.37の患者発生があり、前週の4.35から減少した。定点当たり東部地区で3.88、中部地区で1.89、西部地区で1.2の患者が発生した。



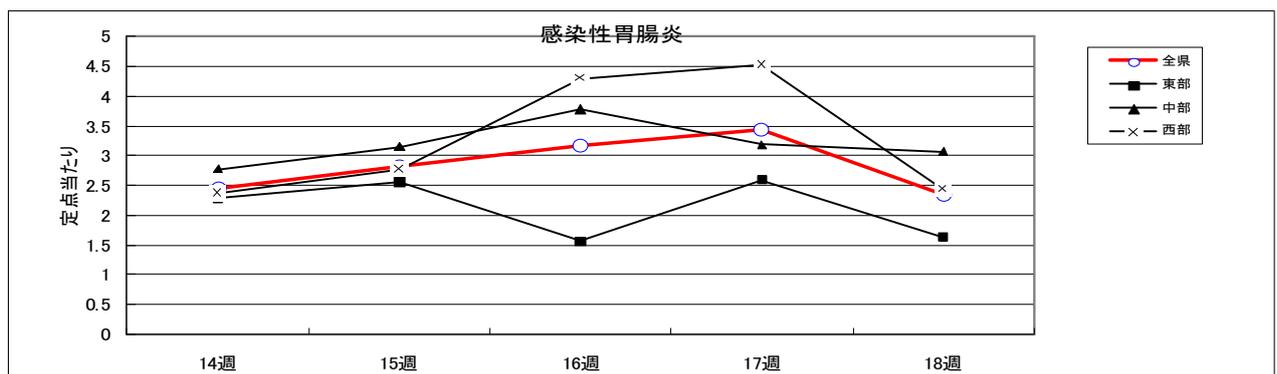
【新型コロナ】

全県で罹患数277、定点当たり1.99の患者発生があり、前週の2.92から減少した。定点当たり東部地区で2.64、中部地区で2.05、西部地区で1.26の患者が発生した。



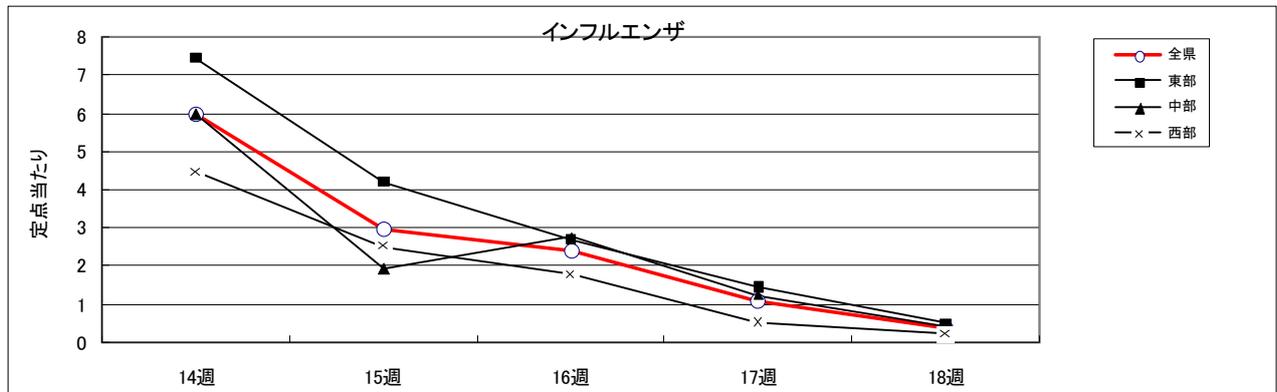
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数208、定点当たり2.34の患者発生があり、前週の3.43から減少した。定点当たり東部地区で1.63、中部地区で3.07、西部地区で2.43の患者が発生した。



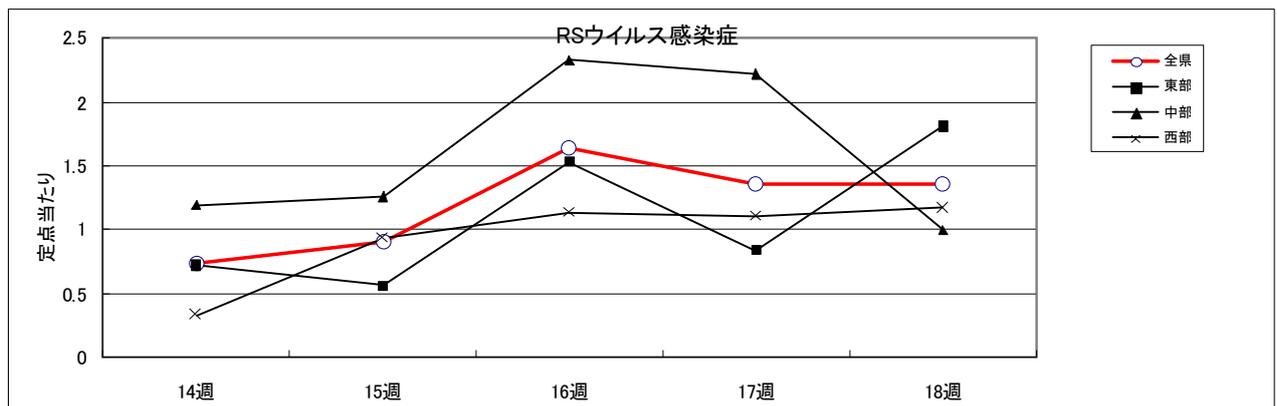
【インフルエンザ】

全県で罹患数 53、定点当たり 0.38 の患者発生があり、前週の 1.07 から減少した。定点当たりは、東部地区で 0.5、中部地区で 0.43、西部地区で 0.21 の発生があった。



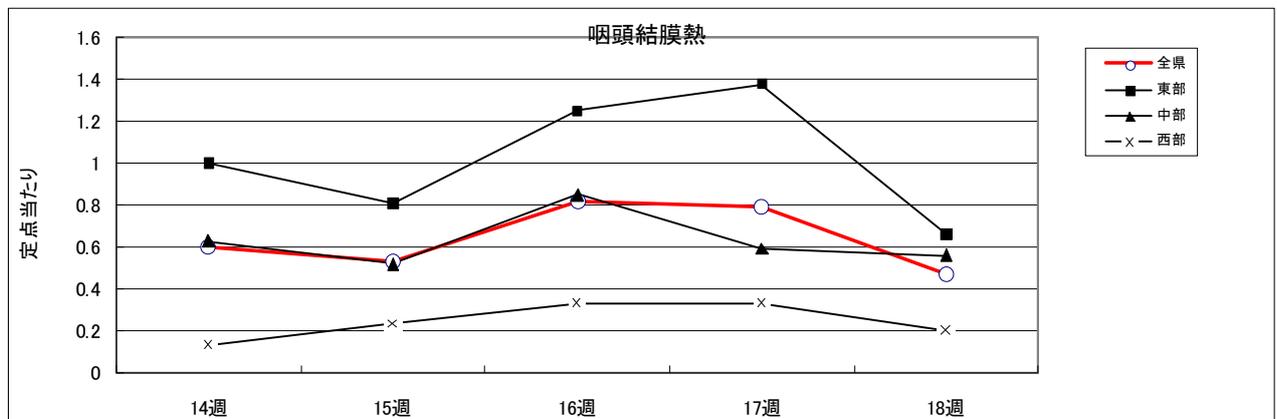
【RSウイルス感染症】

全県で罹患数 120、定点当たり 1.35 の患者発生があり、前週と変わらずであった。定点当たり東部地区で 1.81、中部地区で 1、西部地区で 1.17 の患者が発生した。



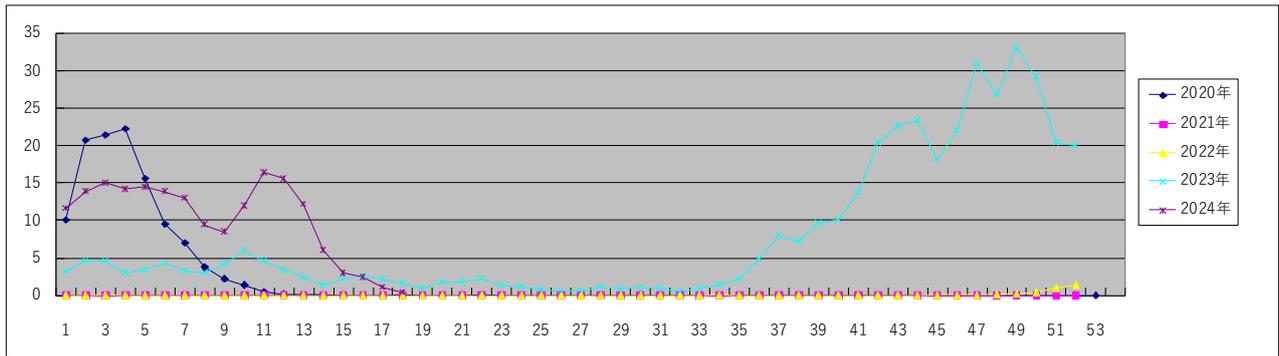
【咽頭結膜熱】

全県で罹患数 42、定点当たり 0.47 の患者発生があり、前週の 0.79 から減少した。定点当たり東部地区で 0.66、中部地区で 0.56、西部地区で 0.2 の患者が発生した。



- ・ 麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・ 全国のインフルエンザの発生は 0.45 で前週の 1.07 から減少し、流行期入りの目安である1を下回った。警報レベルの保健所を有する都道府県は 0 から変わらず、注意報レベルの保健所を有する都道府県は1から 0 に減少した。
- ・ 静岡県において第 18 週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(2.37)、2)感染性胃腸炎 (2.34)、3) 新型コロナ (1.99)、4)RSウイルス感染症(1.35)、5)咽頭結膜熱 (0.47)、6)インフルエンザ (0.38)、であった。

【インフルエンザ罹患数推移】

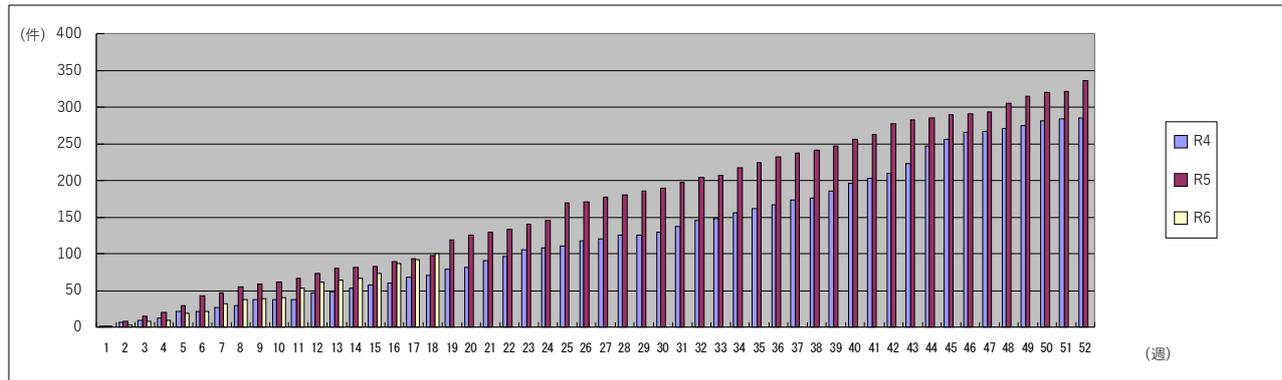


【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2023/2024 シーズン)】(令和 5 年第 40 週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R5年 第40週～第45週	静岡県	21	36		
	静岡市	5	8		
	浜松市	1	10		
R5年 第46週～第50週	静岡県	9	22		1
	静岡市	1	7		
	浜松市	10	28		5
R5年 第51週～第52週	静岡県	4	12		1
	静岡市	2	2		1
	浜松市	2	13		1
R6年 第1週～第5週	静岡県	14	14		4
	静岡市	11	14		5
	浜松市	7	15		2
R6年 第6週～第10週	静岡県	5	4		12
	静岡市	1	1		16
	浜松市	2	4		18
R6年 第11週～第15週	静岡県	1	1		18
	静岡市	2			23
	浜松市		1		20
R6年 第16週	静岡県				4
	静岡市				
	浜松市				1
R6年 第17週	静岡県				5
	静岡市				
	浜松市				
R6年 第18週	静岡県				3
	静岡市				1
	浜松市		1		
合 計		98	193	0	141

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第18週は前年同期比 1.0 倍であった。



◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(東部(1)、富士(1)、西部(1)、浜松市(1))
- 3類感染症 報告なし
- 4類感染症 日本紅斑熱(熱海(1))
- 5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(浜松市(1))
 ジアルジア症(富士(1))、侵襲性肺炎球菌感染症(西部(1)、浜松市(4))
 梅毒(富士(1)、浜松市(3))、破傷風(熱海(1))

2 保健所別の警報状況

- 警 報 咽頭結膜熱(御殿場)
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(御殿場)

警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
御殿場	8.0	16.0
東部	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

3 指定届出機関からの特記事項欄コメント

下田メディカルセンター(下田市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 2名」

高野医院(伊東市)「新型コロナ 2名」

光ヶ丘小児科(三島市)「新型コロナウイルス 6名、RS 6名、咽頭アデノ 3名、溶連菌 14名」

よざ小児科(沼津市)「インフルエンザB型 2名、新型コロナ 2名、溶連菌 2名、咽頭結膜熱 1名」

なかがわ医院(小山町)「インフルエンザB型 1名」

安田内科小児科医院(御殿場市)「ノロ 1名、インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 3名」

富士病院(御殿場市)「インフルエンザB型 1名」

たうち小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 1名」

小川小児科内科医院(富士市)「インフルエンザB型 1名」

伊藤医院(湖西市)「新型コロナ 1名」

浜松医療センター(浜松市)「ヒトメタニューモ 1名」

クリニックパパ(浜松市)「咽頭アデノ 3名、ヒトメタニューモ 1名、インフルエンザA型 1名」

今西こどもクリニック(浜松市)「咽頭アデノ 1名、ヒトメタニューモ 2名」

いぬかい小児科(浜松市)「インフルエンザA型 1名」

縣医院(浜松市)「インフルエンザB型 2名」

くまがいクリニック(浜松市)「インフルエンザA型 1名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザ型別状況(2023-2024 シーズン累計)

週	インフルエンザA型		インフルエンザB型	
	報告数	割合	報告数	割合
第1週	429名	91.1%	42名	8.9%
第2週	614名	86.6%	95名	13.4%
第3週	714名	83.4%	142名	16.6%
第4週	569名	71.9%	222名	28.1%
第5週	435名	50.1%	434名	49.9%
第6週	273名	33.7%	538名	66.3%
第7週	135名	17.7%	626名	82.3%
第8週	82名	14.0%	502名	86.0%
第9週	60名	14.2%	362名	85.8%
第10週	64名	8.8%	661名	91.2%
第11週	73名	7.6%	888名	92.4%
第12週	54名	5.9%	856名	94.1%
第13週	66名	9.1%	661名	90.9%
第14週	21名	6.5%	301名	93.5%
第15週	6名	3.3%	175名	96.7%
第16週	7名	5.9%	112名	94.1%
第17週	2名	4.3%	45名	95.7%
第18週	6名	31.6%	13名	68.4%
シーズン総計	31,225名	81.2%	7,214名	18.8%

4 全数報告感染症集計表

2024年 第 18 週

疾患名	区分	静岡県						全国					
		第13週	第14週	第15週	第16週	第17週	今週	年累計	第15週	第16週	第17週	今週	年累計
エボラ出血熱	1 類												
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱	2 類												
急性灰白髄炎													
結核		1	6	1	4	4	4	132	249	264	234	171	4,963
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1	3 類												
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													
細菌性赤痢									2	4			19
腸管出血性大腸菌感染症								6	24	39	26	29	467
腸チフス											1	1	12
パラチフス	4 類											1	3
E型肝炎						1		2	12	7	5	13	182
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎									2	5	9	4	47
エキノコックス症													3
エムボックス									1			1	13
賞熱	5 類												
オウム病													
オムスク出血熱													
回帰熱													1
キャサスル森林病													6
Q熱													1
狂犬病													
コクシジオイデス症									1			1	
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群								3	7	4	6	32	
腎臓慢性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽	5 類												
チクングニア熱													
つつが虫病								1	1	1	4	1	66
デング熱				1				2	4	4	7	3	58
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱				1		1	3	3	3	12	17	43	
日本脳炎												1	
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア								2		1		11	
野兔病													
ライム病													
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症			2				15	24	21	14	18	536	
レプトスピラ症												1	
ロッキー山紅斑熱													
アムール赤痢							5	5	11	8	8	187	
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)								1	6	4	1	66	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				2	1	1	7	31	38	28	22	625	
急性弛緩性麻痺								1	1	1		12	
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)			1	1			12	8	2	7	8	215	
クリプトスポリジウム症										1		9	
クロイツフェルト・ヤコブ病								1	1	2	1	57	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1		16	21	35	27	18	801	
後天性免疫不全症候群	1				1		14	7	11	10	5	310	
ジアルジア症						1	1	3			1	16	
侵襲性インフルエンザ菌感染症				1			5	11	11	7	9	225	
侵襲性髄膜炎菌感染症							1		2			14	
侵襲性肺炎球菌感染症			1				5	26	30	52	43	957	
水痘(入院例に限る)							4	9	7	8	4	155	
先天性風しん症候群													
梅毒	2	2	4	5	4	4	100	184	185	192	101	4,374	
播種性クリプトコックス症								3	2	4	2	76	
破傷風						1	2				1	19	
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症							7	1		3	1	43	
百日咳							4	21	14	24	14	261	
風しん								1		1		4	
麻しん												21	
薬剤耐性アシネトバクター感染症													
新型インフルエンザ等感染症													

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。(「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。)

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

5 定点把握感染症集計表

定点把握感染症集計表(届出数)

2024年 第 18 週

	静岡県							全国					
	第13週	第14週	第15週	第16週	第17週	今週	計	第15週	第16週	第17週	今週	計	
小児科	RSウイルス感染症	39	65	80	146	120	120	570	4,448	5,498	5,379	3,905	19,230
	咽頭結膜熱	53	53	47	73	70	42	338	1,764	2,118	2,193	1,564	7,639
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	291	272	285	280	387	211	1,726	10,392	12,784	14,518	8,328	46,022
	感染性胃腸炎	297	219	250	281	305	208	1,560	12,090	13,123	14,328	8,029	47,570
	水痘	8	7	15	6	5	11	52	458	450	547	330	1,785
	手足口病	11	3	10	6	10	11	51	1,009	1,405	1,796	1,890	6,100
	伝染性紅斑	2	4	2	5	4	1	18	83	153	92	77	405
	突発性発しん	24	23	17	25	21	31	141	784	933	980	672	3,369
	ヘルパンギーナ		2	2	1	5		10	141	187	283	238	849
	流行性耳下腺炎	5	4	1	5	6	3	24	86	159	152	117	514
小・内	インフルエンザ	1,689	833	409	334	149	53	3,467	13,245	9,105	5,234	2,199	29,783
	新型コロナウイルス感染症	653	618	489	390	406	277	2,833	18,297	17,937	15,786	11,086	63,106
眼科	急性出血性結膜炎								12	13	13	8	46
	流行性角結膜炎	7	5	6	4	8	2	32	365	381	426	298	1,470
基幹	細菌性髄膜炎			1		1		2	16	10	7	8	41
	無菌性髄膜炎		1			1		2	8	7	10	7	32
	マイコプラズマ肺炎	3	2		2	4	1	12	55	64	77	67	263
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								1	1		1	3
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								8	10	9	6	33

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2024年 第 18 週

		静岡県					全国				
		第13週	第14週	第15週	第16週	第17週	今週	第15週	第16週	第17週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.44	0.73	0.90	1.64	1.35	1.35	1.42	1.76	1.73	1.26
	咽頭結膜熱	0.60	0.60	0.53	0.82	0.79	0.47	0.56	0.68	0.70	0.51
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.27	3.06	3.20	3.15	4.35	2.37	3.32	4.08	4.66	2.69
	感染性胃腸炎	3.34	2.46	2.81	3.16	3.43	2.34	3.86	4.19	4.60	2.59
	水痘	0.09	0.08	0.17	0.07	0.06	0.12	0.15	0.14	0.18	0.11
	手足口病	0.12	0.03	0.11	0.07	0.11	0.12	0.32	0.45	0.58	0.61
	伝染性紅斑	0.02	0.04	0.02	0.06	0.04	0.01	0.03	0.05	0.03	0.02
	突発性発しん	0.27	0.26	0.19	0.28	0.24	0.35	0.25	0.30	0.31	0.22
	ヘルパンギーナ		0.02	0.02	0.01	0.06		0.05	0.06	0.09	0.08
流行性耳下腺炎	0.06	0.04	0.01	0.06	0.07	0.03	0.03	0.05	0.05	0.04	
小・内科	インフルエンザ	12.15	5.99	2.94	2.40	1.07	0.38	2.69	1.85	1.07	0.45
	新型コロナウイルス感染症	4.70	4.45	3.52	2.81	2.92	1.99	3.71	3.64	3.22	2.27
眼科	急性出血性結膜炎							0.02	0.02	0.02	0.01
	流行性角結膜炎	0.32	0.23	0.27	0.18	0.36	0.09	0.53	0.55	0.63	0.44
基幹	細菌性髄膜炎			0.10		0.10		0.03	0.02	0.01	0.02
	無菌性髄膜炎		0.10			0.10		0.02	0.01	0.02	0.01
	マイコプラズマ肺炎	0.30	0.20		0.20	0.40	0.10	0.11	0.13	0.16	0.14
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00	0.00	-	0.00
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.02	0.02	0.02	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

保健所別定点把握感染症集計表(定点当り)

第 18 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	120	1.35	42	0.47	211	2.37	208	2.34	11	0.12
賀茂							1	0.50		
熱海	1	0.25	1	0.25	7	1.75	11	2.75	1	0.25
東部	28	2.15	12	0.92	28	2.15	16	1.23	2	0.15
御殿場	21	5.25	5	1.25	80	20.00	16	4.00		
富士	8	0.89	3	0.33	9	1.00	8	0.89	1	0.11
静岡市	23	1.44	7	0.44	29	1.81	39	2.44	1	0.06
中部	4	0.36	8	0.73	22	2.00	44	4.00	1	0.09
西部	14	1.17	1	0.08	17	1.42	21	1.75	1	0.08
浜松市	21	1.17	5	0.28	19	1.06	52	2.89	4	0.22

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	11	0.12	1	0.01	31	0.35	0		3	0.03
賀茂										
熱海					1	0.25				
東部					5	0.38			1	0.08
御殿場	1	0.25			2	0.50				
富士			1	0.11	3	0.33			1	0.11
静岡市					3	0.19				
中部					4	0.36			1	0.09
西部	9	0.75			5	0.42				
浜松市	1	0.06			8	0.44				

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	53	0.38	277	1.99	8.0	16.0	89	50
賀茂	3	1.00	18	6.00	13.0	26.0	2	1
熱海			15	2.50	9.0	18.0	4	2
東部	9	0.45	31	1.55	8.0	16.0	13	7
御殿場	8	1.33	40	6.67	17.0	34.0	4	2
富士	5	0.33	28	1.87	11.0	22.0	9	6
静岡市	11	0.44	48	1.92	6.0	12.0	16	9
中部	7	0.41	38	2.24	8.0	16.0	11	6
西部	3	0.16	36	1.89	10.0	20.0	12	7
浜松市	7	0.25	23	0.82	7.0	14.0	18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

保健所別定点把握感染症集計表(定点当り)

第 18 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		2	0.09	0		0		1	0.10
賀茂										
熱海										
東部										
御殿場										
富士			1	0.33						
静岡市										
中部										
西部									1	1.00
浜松市			1	0.33						

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

2024年 第 18 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	計							
RSウイルス感染症	8	25	46	14	14	8	4				1				120							
咽頭結膜熱		5	9	5	2	5	6	2				3		3	42							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	4	9	16	28	25	20	25	17	13	31		5	211							
感染性胃腸炎	2	10	20	16	21	19	25	18	17	12	12	17		4	208							
水痘		1					1		2		1	4		2	11							
手足口病		3	2	2	2	2									11							
伝染性紅斑								1							1							
突発性発しん		6	21	2	1		1								31							
ヘルパンギーナ																						
流行性耳下腺炎								1	1					1	3							
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
インフルエンザ			3	3	3	2	3	2	3	2	2	7	12	1	5	1	1				1	53
新型コロナウイルス感染症	5	5	10	3	3	2	4	2		1	3	20	14	25	25	31	39	24	28	33	277	
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計		
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎			1												1						2	
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計					
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎			1																		1	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						

定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

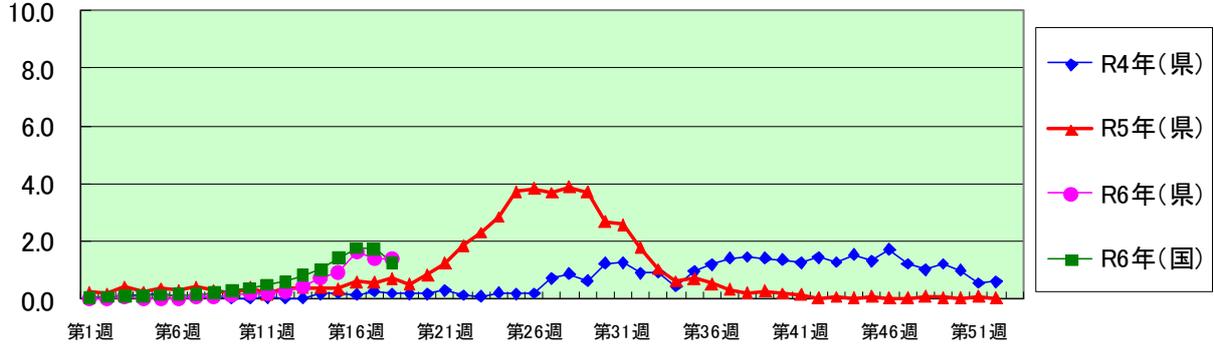
2024年 第 18 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	計						
RSウイルス感染症	0.09	0.28	0.52	0.16	0.16	0.09	0.04					0.01			1.35						
咽頭結膜熱		0.06	0.10	0.06	0.02	0.06	0.07	0.02				0.03	0.03	0.02	0.47						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.01	0.04	0.10	0.18	0.31	0.28	0.22	0.28	0.19	0.15	0.35	0.06	0.19	2.37						
感染性胃腸炎	0.02	0.11	0.22	0.18	0.24	0.21	0.28	0.20	0.19	0.13	0.13	0.19	0.04	0.17	2.34						
水痘		0.01					0.01		0.02		0.01	0.04	0.02		0.12						
手足口病		0.03	0.02	0.02	0.02	0.02									0.12						
伝染性紅斑								0.01							0.01						
突発性発しん		0.07	0.24	0.02	0.01		0.01								0.35						
ヘルパンギーナ																					
流行性耳下腺炎								0.01	0.01			0.01			0.03						
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ			0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.05	0.09	0.01	0.04	0.01	0.01		0.01	0.01	0.38
新型コロナウイルス感染症	0.04	0.04	0.07	0.02	0.02	0.01	0.03	0.01		0.01	0.02	0.14	0.10	0.18	0.18	0.22	0.28	0.17	0.20	0.24	1.99
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計	
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎			0.05												0.05						0.09
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計				
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎			0.10																		0.10
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

6 定点把握感染症推移グラフ

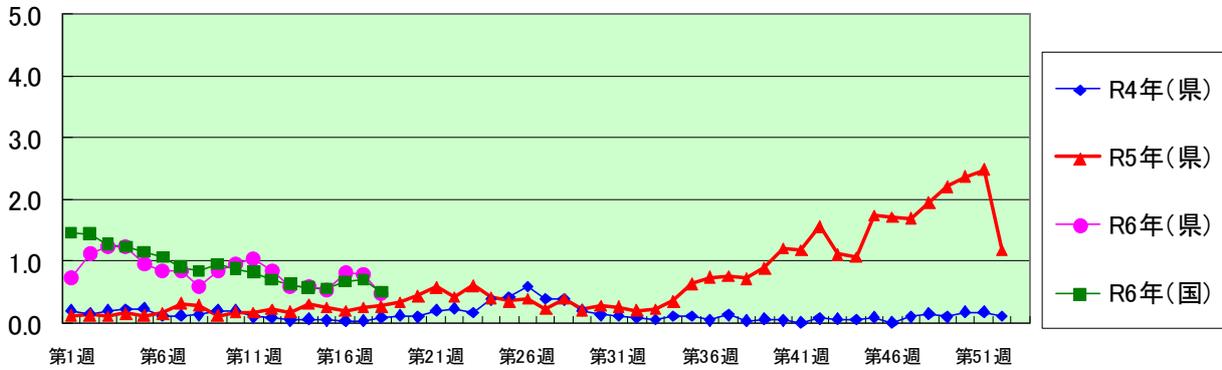
(定点当たり患者数)

RSウイルス感染症



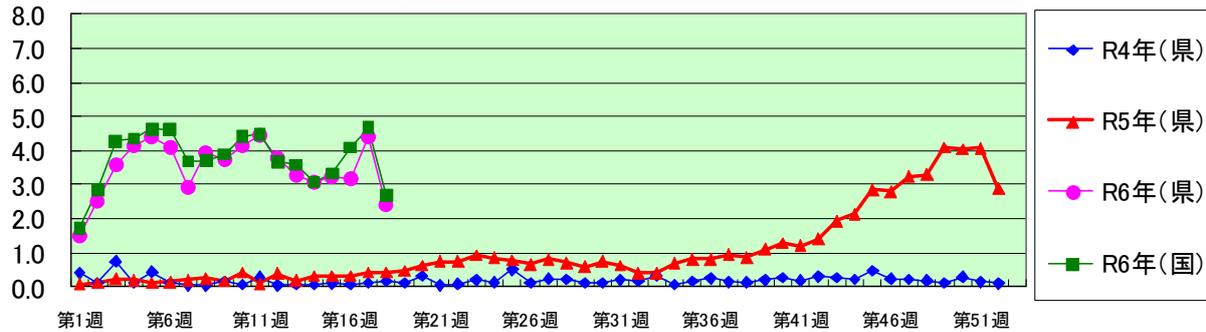
(定点当たり患者数)

咽頭結膜熱 (警報レベル 開始3 終息1)



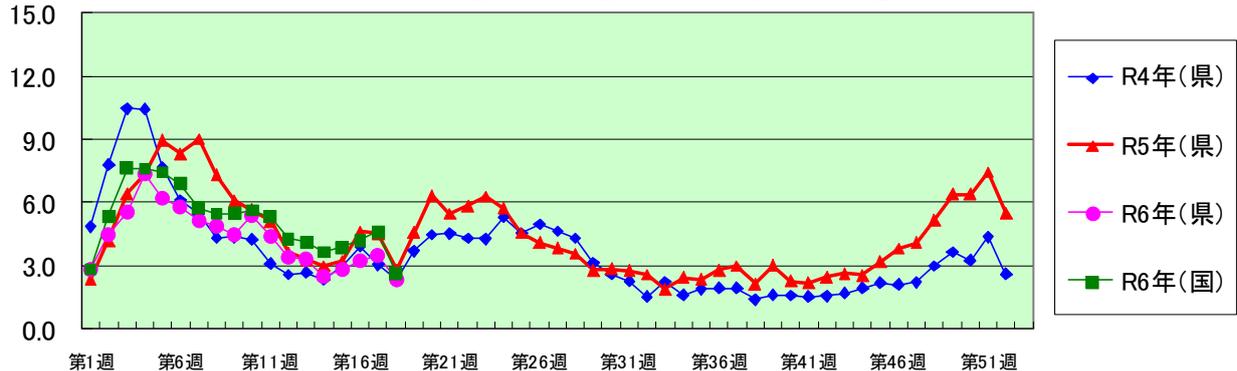
(定点当たり患者数)

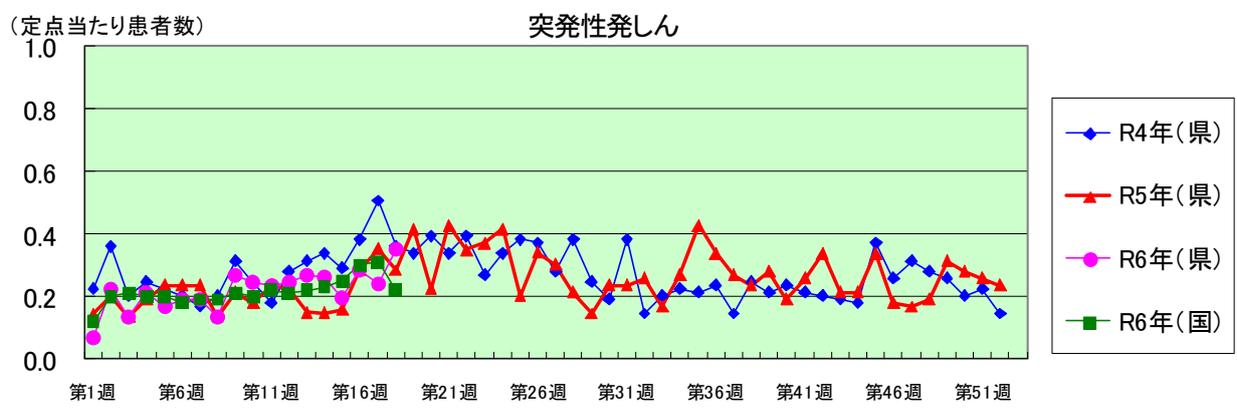
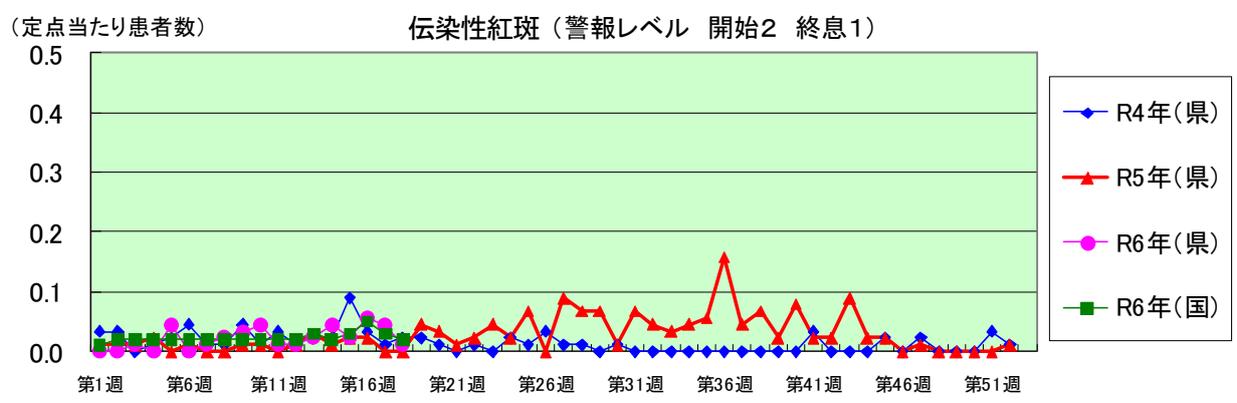
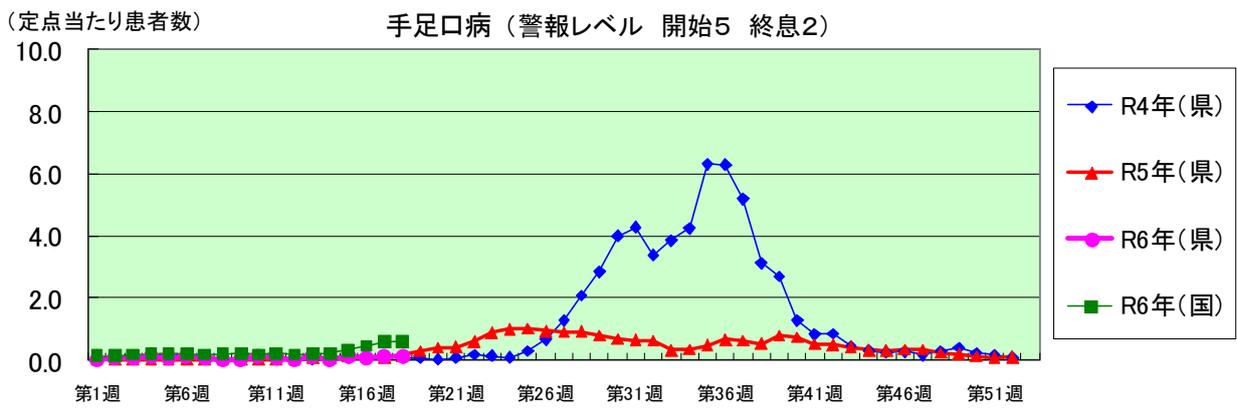
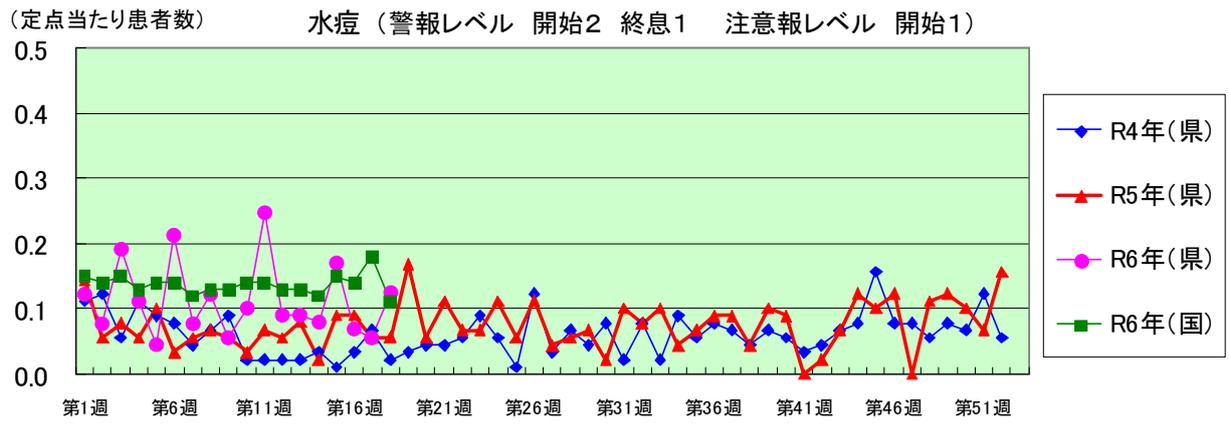
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (警報レベル 開始8 終息4)



(定点当たり患者数)

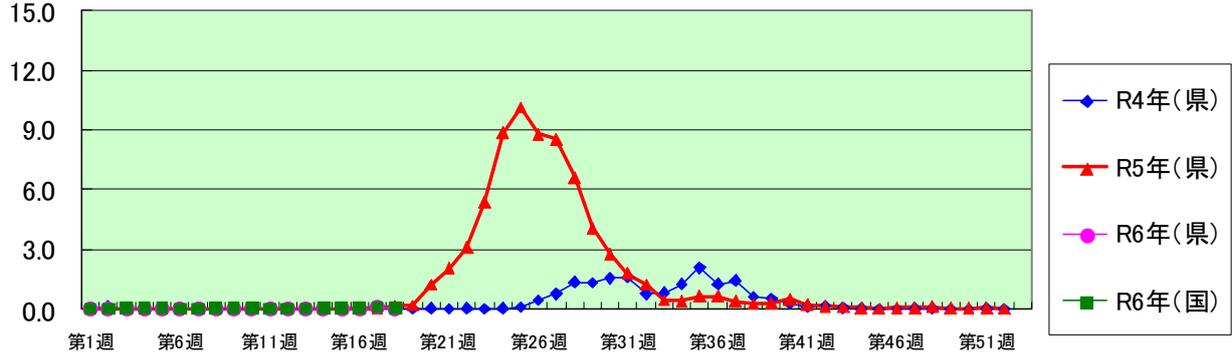
感染性胃腸炎 (警報レベル 開始20 終息12)





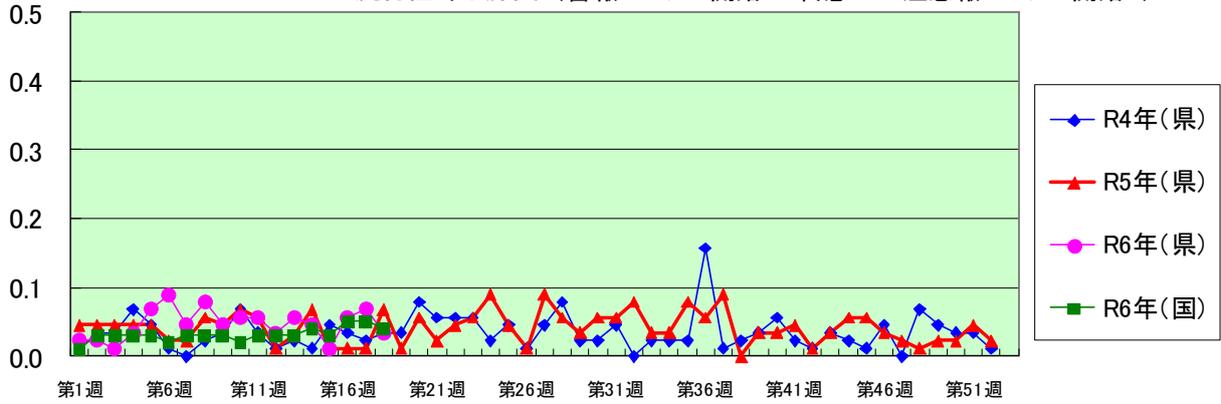
(定点当たり患者数)

ヘルパンギーナ (警報レベル 開始6 終息2)



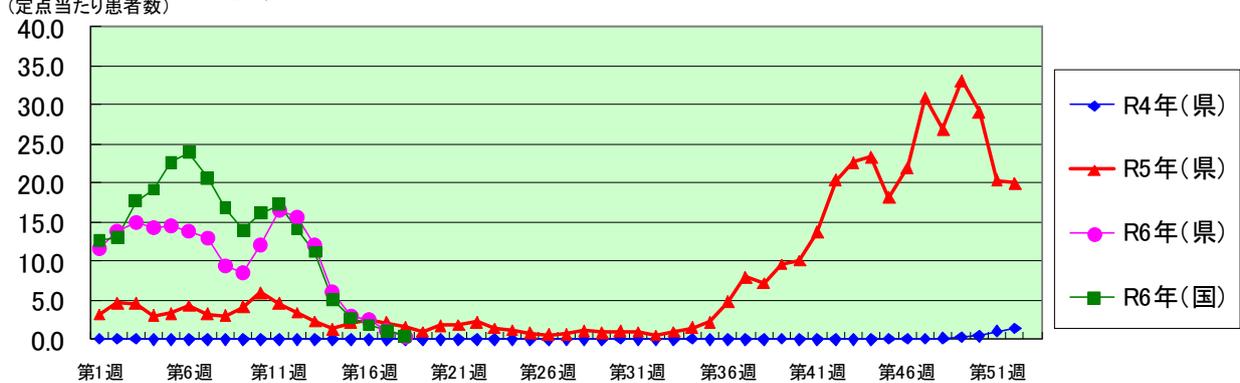
(定点当たり患者数)

流行性耳下腺炎 (警報レベル 開始6 終息2 注意報レベル 開始3)



(定点当たり患者数)

インフルエンザ (警報レベル 開始30 終息10 注意報レベル 開始10 流行開始の目安 1)



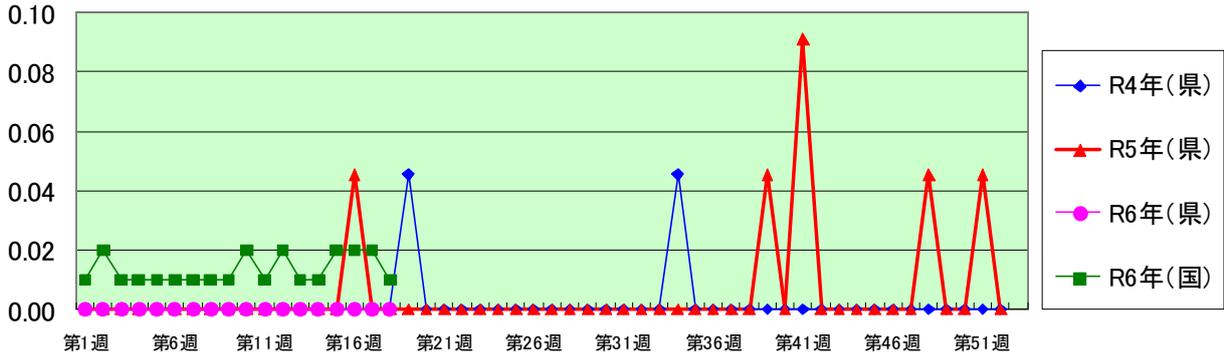
(定点当たり患者数)

新型コロナウイルス感染症 (県独自の警報レベル16 注意報レベル8)



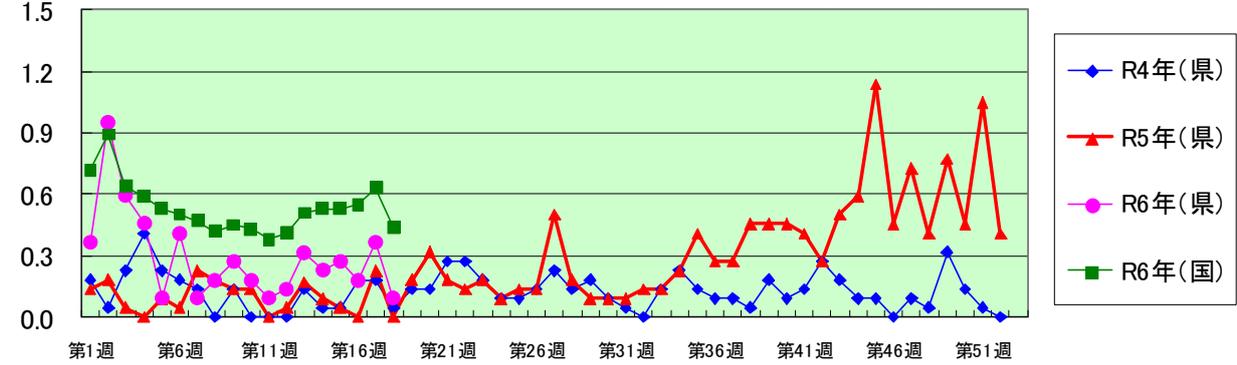
(定点当たり患者数)

急性出血性結膜炎 (警報レベル 開始1 終息0.1)



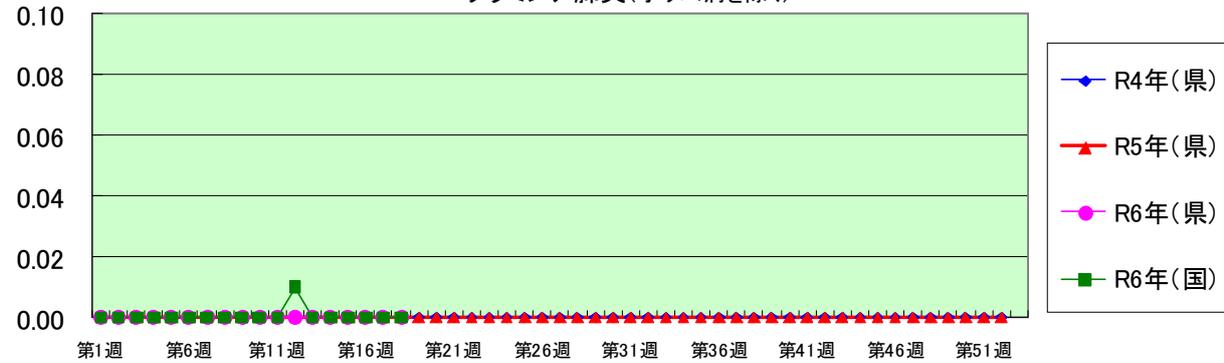
(定点当たり患者数)

流行性角結膜炎 (警報レベル 開始8 終息4)



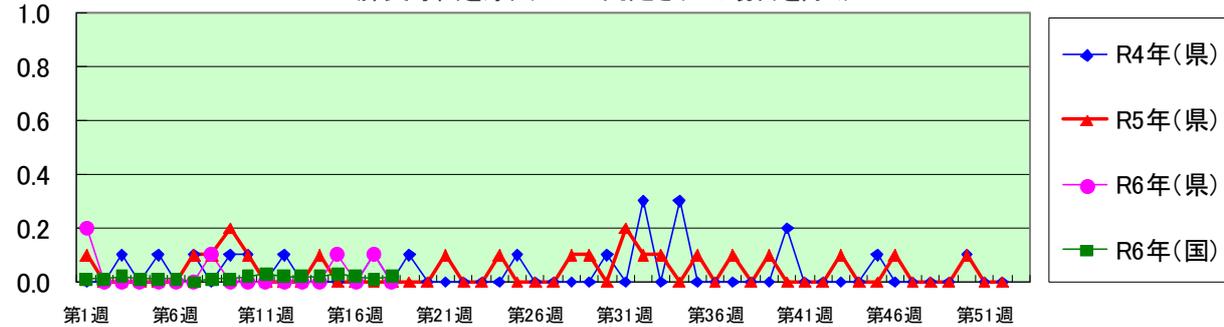
(定点当たり患者数)

クラミジア肺炎(オウム病を除く)



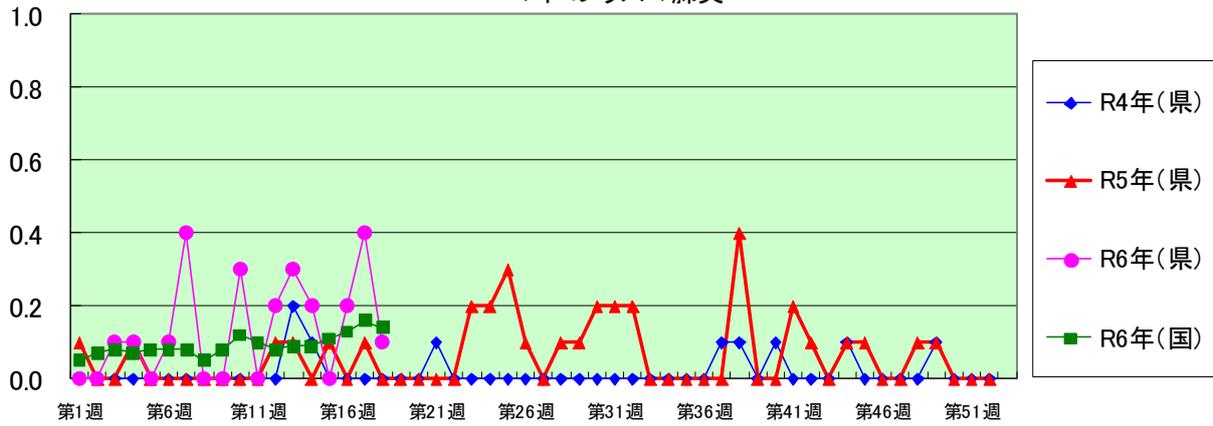
(定点当たり患者数)

細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)



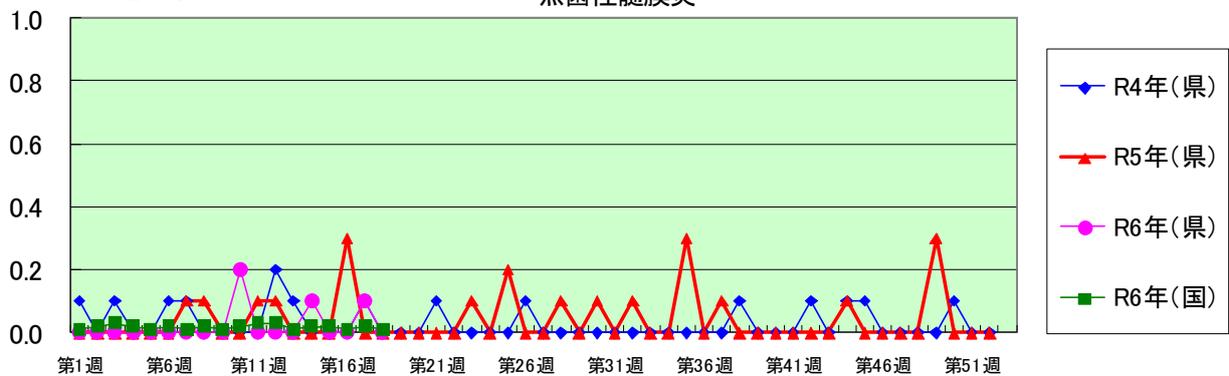
(定点当たり患者数)

マイコプラズマ肺炎



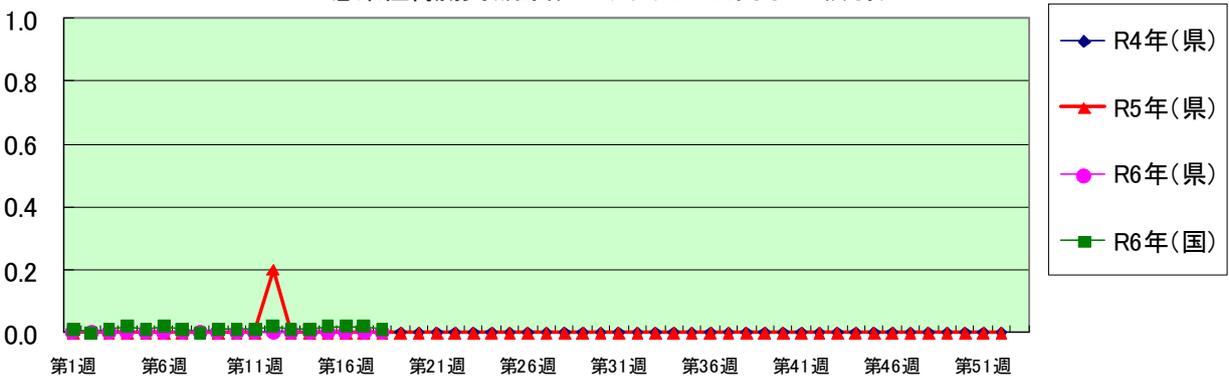
(定点当たり患者数)

無菌性髄膜炎



(定点当たり患者数)

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

7 定点把握感染症集計表(月報)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2024年 3 月

	静岡県							全国				
	10月	11月	12月	1月	2月	今月	計	12月	1月	2月	今月	計
性器クラミジア感染症	66	61	53	61	56	54	351	2,462	2,508	2,346	2,466	9,782
性器ヘルペスウイルス感染症	14	23	18	19	16	13	103	798	814	743	807	3,162
尖圭コンジローマ	11	15	15	13	11	7	72	507	502	487	500	1,996
淋菌感染症	15	11	13	13	18	8	78	791	852	747	739	3,129
性器クラミジア感染症(男)	22	22	16	18	18	8	104	1,211	1,274	1,140	1,243	4,868
性器クラミジア感染症(女)	44	39	37	43	38	46	247	1,251	1,234	1,206	1,223	4,914
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	7	9	9	5	5	2	37	276	300	292	294	1,162
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	7	14	9	14	11	11	66	522	514	451	513	2,000
尖圭コンジローマ(男)	6	8	6	8	5	5	38	321	335	327	335	1,318
尖圭コンジローマ(女)	5	7	9	5	6	2	34	186	167	160	165	678
淋菌感染症(男)	6	7	9	9	8	6	45	604	670	537	528	2,339
淋菌感染症(女)	9	4	4	4	10	2	33	187	182	210	211	790
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	21	16	26	27	26	22	138	1,356	1,328	1,325	1,352	5,361
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								88	80	74	60	302
薬剤耐性緑膿菌感染症								7	6	7	4	24

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2024年 3 月

	静岡県						全国			
	10月	11月	12月	1月	2月	今月	12月	1月	2月	今月
性器クラミジア感染症	2.20	2.03	1.77	2.03	1.87	1.80	2.51	2.57	2.40	2.52
性器ヘルペスウイルス感染症	0.47	0.77	0.60	0.63	0.53	0.43	0.81	0.83	0.76	0.82
尖圭コンジローマ	0.37	0.50	0.50	0.43	0.37	0.23	0.52	0.51	0.50	0.51
淋菌感染症	0.50	0.37	0.43	0.43	0.60	0.27	0.81	0.87	0.76	0.75
性器クラミジア感染症(男)	0.73	0.73	0.53	0.60	0.60	0.27	1.24	1.31	1.16	1.27
性器クラミジア感染症(女)	1.47	1.30	1.23	1.43	1.27	1.53	1.28	1.27	1.23	1.25
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.23	0.30	0.30	0.17	0.17	0.07	0.28	0.31	0.30	0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.23	0.47	0.30	0.47	0.37	0.37	0.53	0.53	0.46	0.52
尖圭コンジローマ(男)	0.20	0.27	0.20	0.27	0.17	0.17	0.33	0.34	0.33	0.34
尖圭コンジローマ(女)	0.17	0.23	0.30	0.17	0.20	0.07	0.19	0.17	0.16	0.17
淋菌感染症(男)	0.20	0.23	0.30	0.37	0.27	0.20	0.62	0.69	0.55	0.54
淋菌感染症(女)	0.30	0.13	0.13	0.13	0.33	0.07	0.19	0.19	0.21	0.22
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.10	1.60	2.60	2.70	2.60	2.20	2.84	2.78	2.77	2.82
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.18	0.17	0.15	0.13
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.01	0.01	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2024年 3 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	54	1.80	13	0.43	7	0.23	8	0.27
賀茂
熱海	-	-	-	-	-	-	-	-
東部	2	0.40	1	0.20	-	-	-	-
御殿場	10	10.00	-	-	1	1.00	-	-
富士	9	3.00	4	1.33	-	-	3	1.00
静岡市	13	2.17	3	0.50	3	0.50	-	-
中部	7	1.75	4	1.00	2	0.50	3	0.75
西部	11	2.20	1	0.20	-	-	-	-
浜松市	2	0.40	-	-	1	0.20	2	0.40

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	22	2.20	0	-	0	-
賀茂	2	2.00	-	-	-	-
熱海	1	1.00	-	-	-	-
東部	2	2.00	-	-	-	-
御殿場
富士	-	-	-	-	-	-
静岡市	7	3.50	-	-	-	-
中部	6	6.00	-	-	-	-
西部	1	1.00	-	-	-	-
浜松市	3	1.50	-	-	-	-

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2024年 3 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					6	20	12	8	4	3		1					54
性器ヘルペスウイルス感染症						3	1	4					2	1		2	13
尖圭コンジローマ						1	2	1	1	1					1		7
淋菌感染症						4	1		2					1			8
性器クラミジア感染症(男)						4	2		1	1							8
性器クラミジア感染症(女)					6	16	10	8	3	2		1					46
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							1	1									2
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						3		3					2	1		2	11
尖圭コンジローマ(男)							2	1		1					1		5
尖圭コンジローマ(女)						1			1								2
淋菌感染症(男)						2	1		2					1			6
淋菌感染症(女)						2											2
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1					1				1		2	1		16	22
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

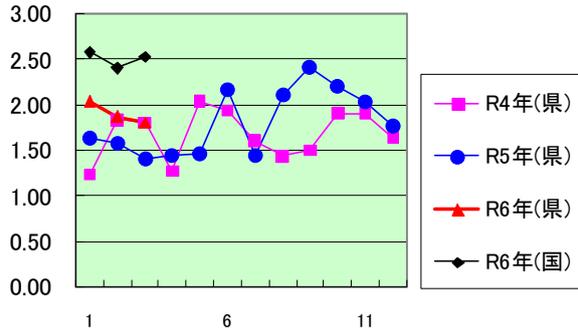
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2024年 3 月

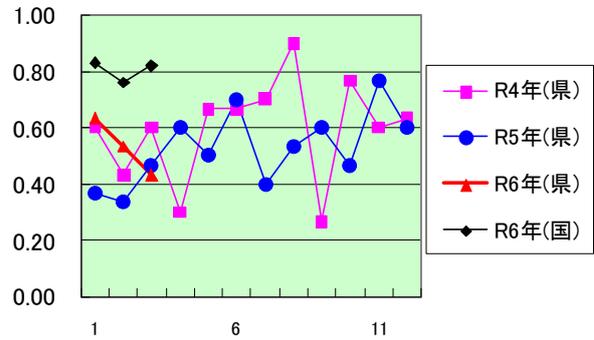
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.20	0.67	0.40	0.27	0.13	0.10		0.03					1.80
性器ヘルペスウイルス感染症						0.10	0.03	0.13					0.07	0.03		0.07	0.43
尖圭コンジローマ						0.03	0.07	0.03	0.03	0.03					0.03		0.23
淋菌感染症						0.13	0.03		0.07					0.03			0.27
性器クラミジア感染症(男)						0.13	0.07		0.03	0.03							0.27
性器クラミジア感染症(女)					0.20	0.53	0.33	0.27	0.10	0.07		0.03					1.53
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.03	0.03									0.07
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.10		0.10					0.07	0.03		0.07	0.37
尖圭コンジローマ(男)							0.07	0.03		0.03					0.03		0.17
尖圭コンジローマ(女)						0.03			0.03								0.07
淋菌感染症(男)						0.07	0.03		0.07					0.03			0.20
淋菌感染症(女)						0.07											0.07
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0.10					0.10				0.10		0.20	0.10		1.60	2.20
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

8 定点把握感染症推移グラフ(月報)

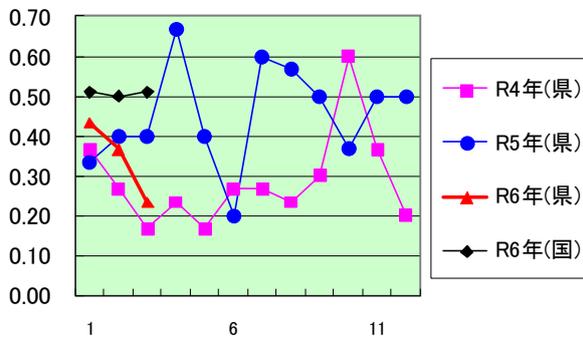
性器クラミジア感染症



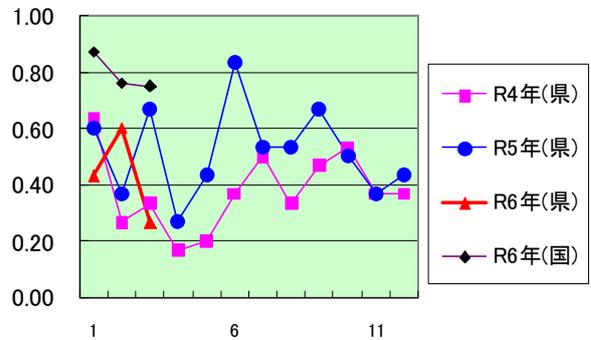
性器ヘルペスウイルス感染症



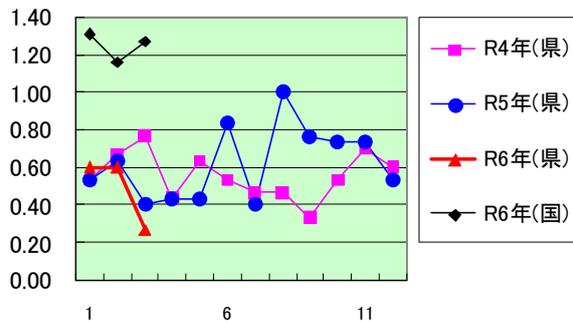
尖圭コンジローマ



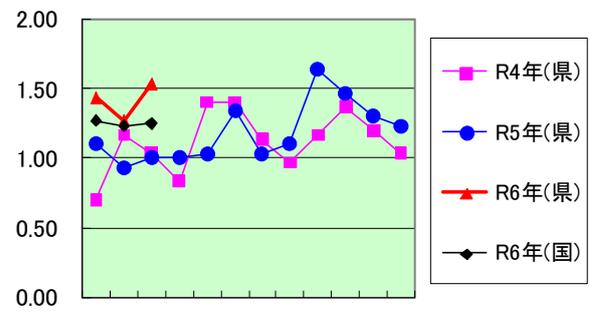
淋菌感染症



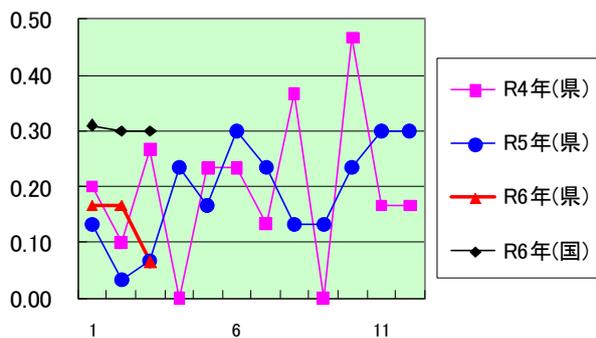
性器クラミジア感染症(男)



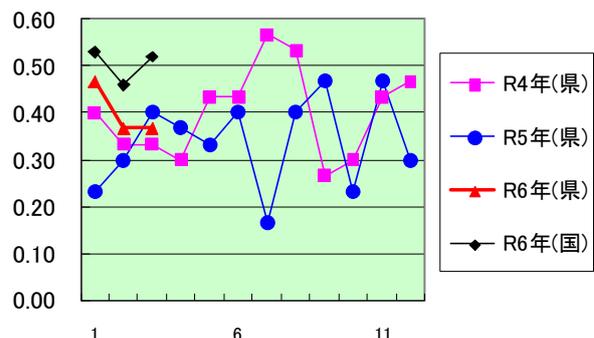
性器クラミジア感染症(女)



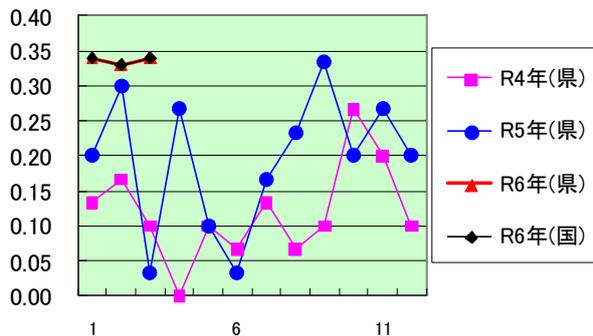
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



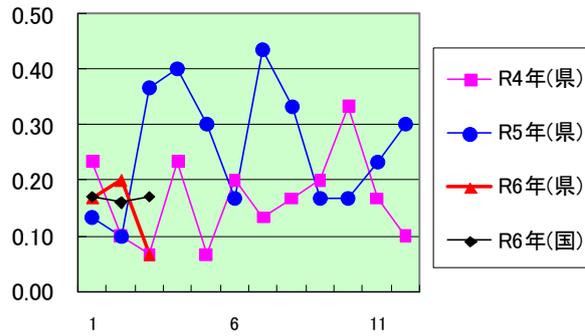
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



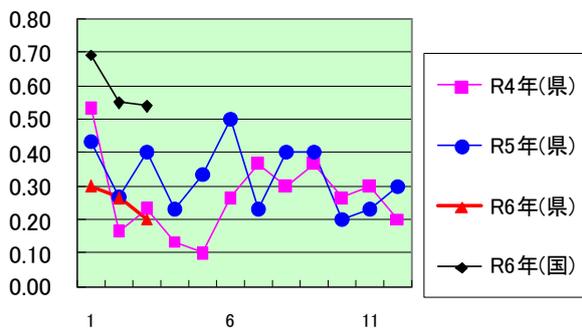
尖圭コンジローマ(男)



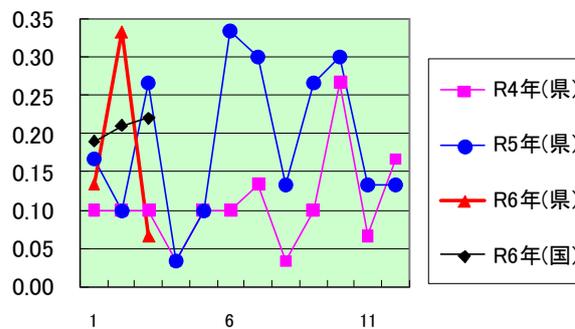
尖圭コンジローマ(女)



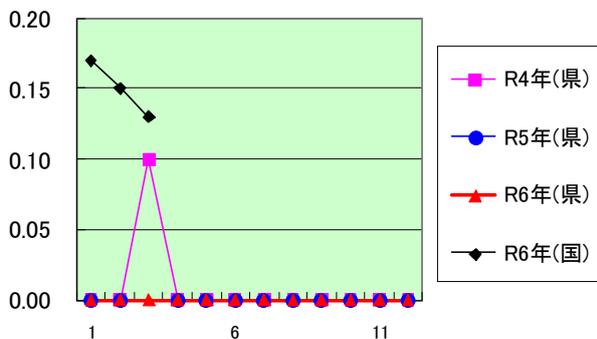
淋菌感染症(男)



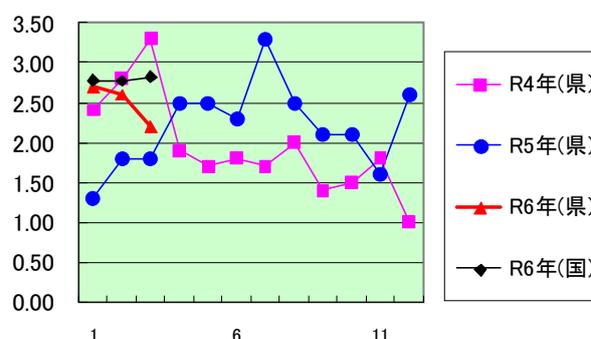
淋菌感染症(女)



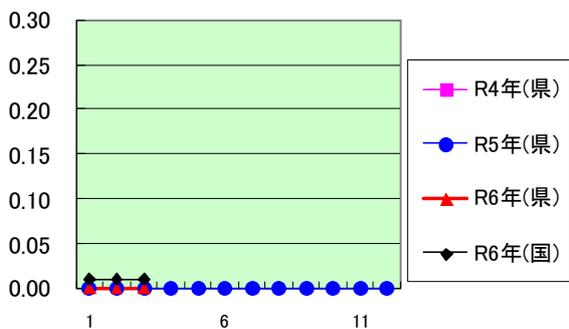
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



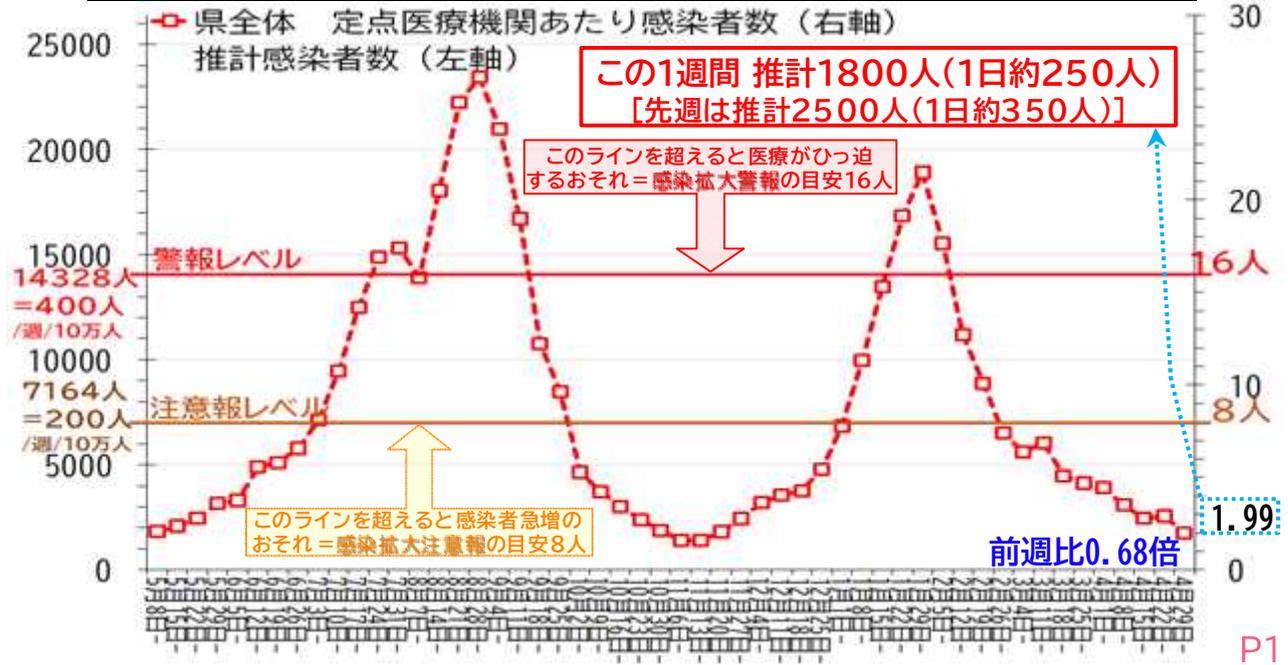
薬剤耐性緑膿菌感染症



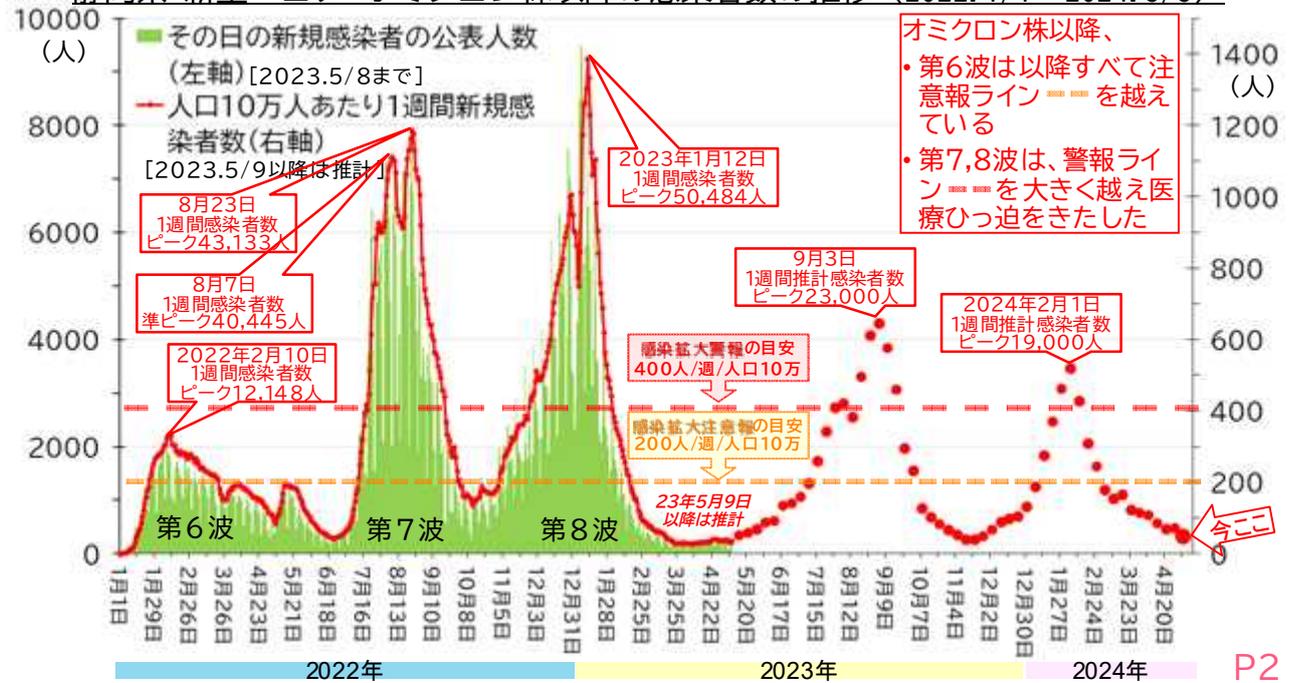
定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

9 本県の新型コロナ及びインフルエンザの感染状況の推移等のグラフ

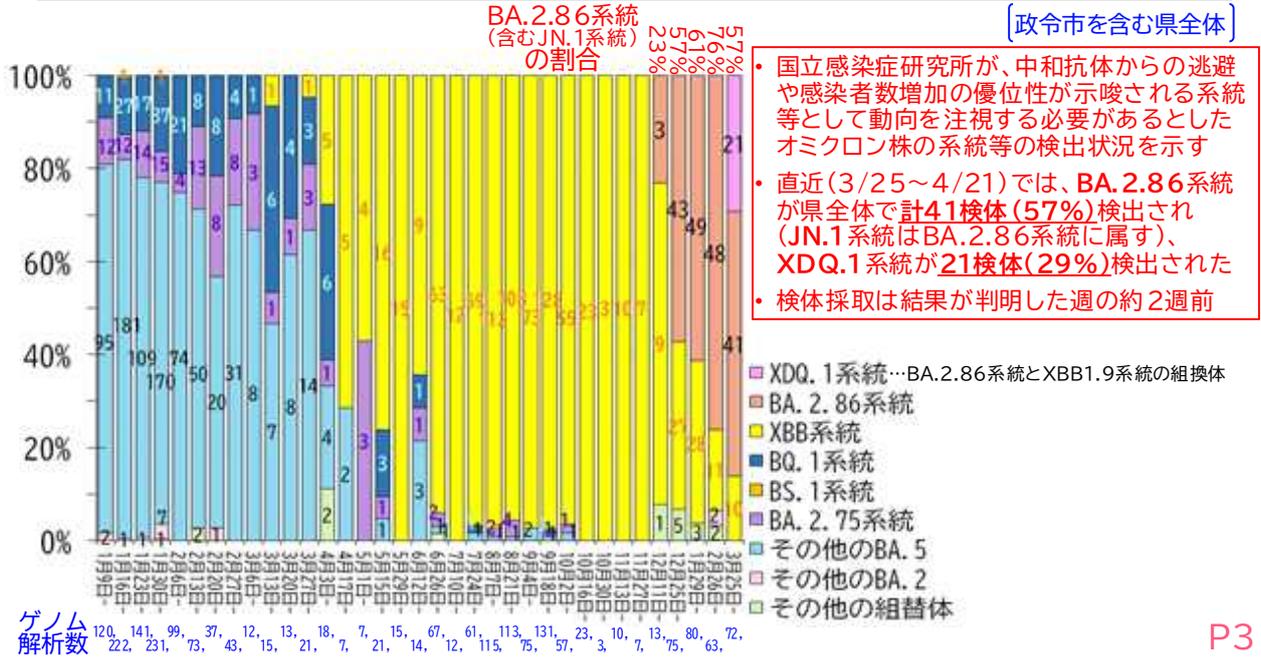
静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8~2024.5/5)



静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2024.5/5)



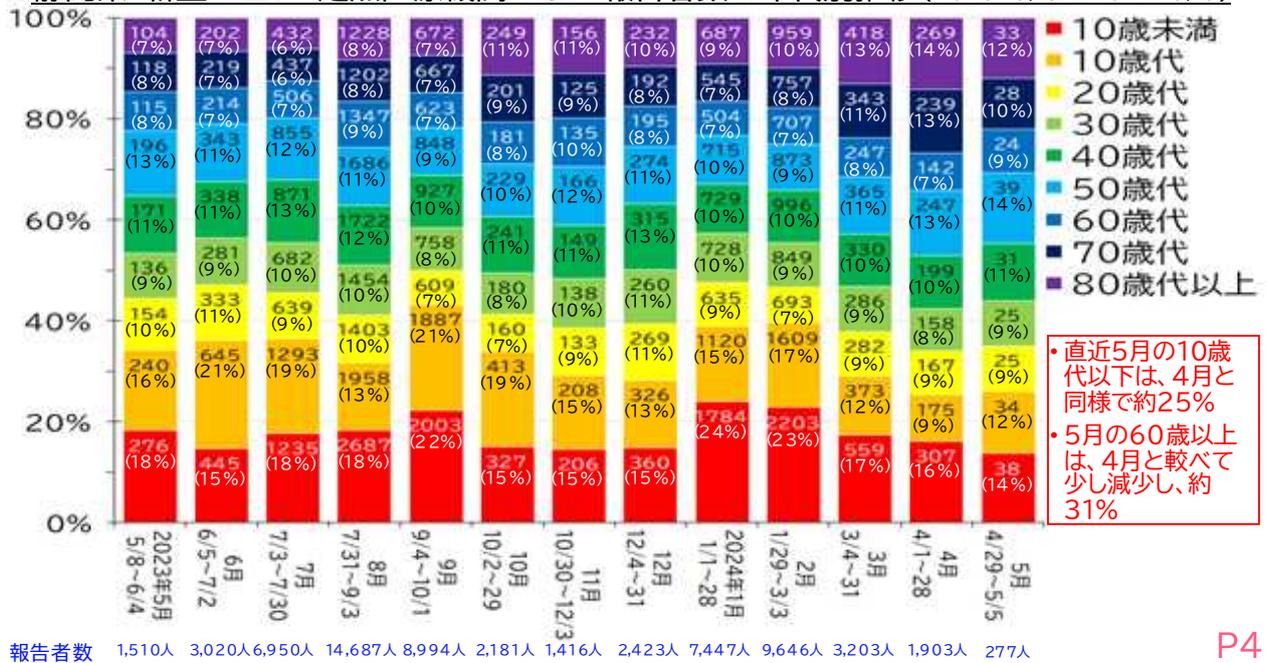
静岡県 新型コロナ オミクロン株の系統の状況 (2023.1/9~2024.4/21)



P3

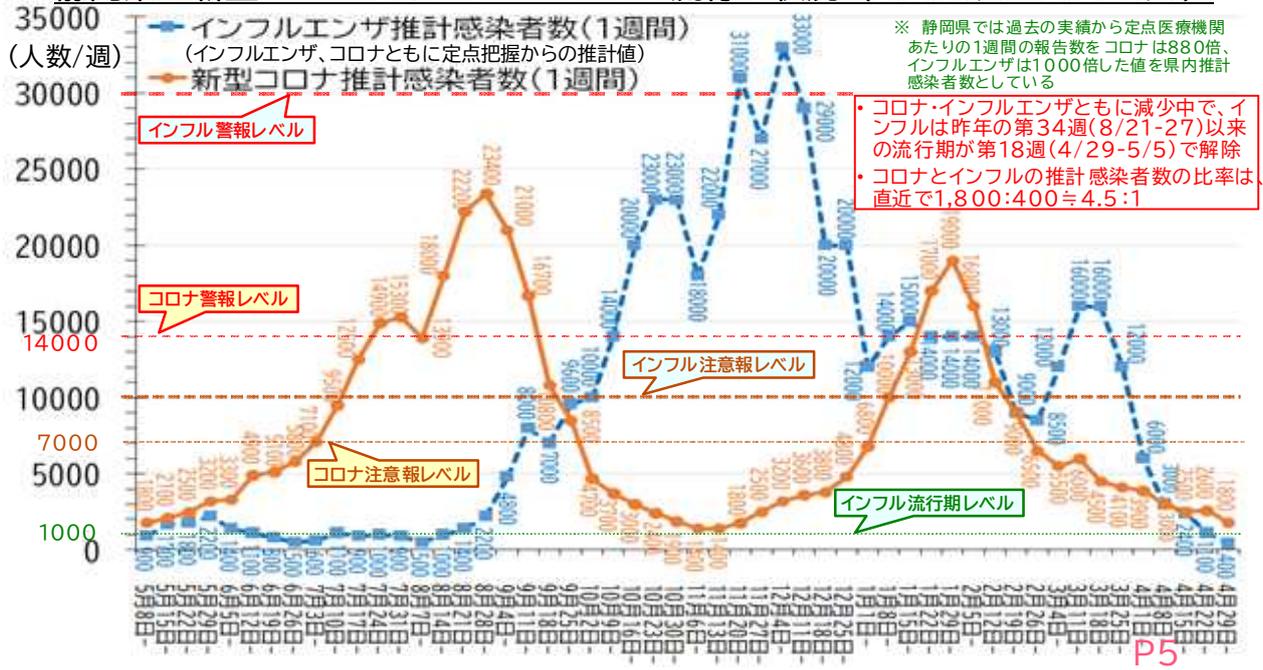
※新型コロナウイルスのゲノム解析に関する項目については、当面の間、1か月に1回程度更新します。

静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2023.5/8~2024.5/5)

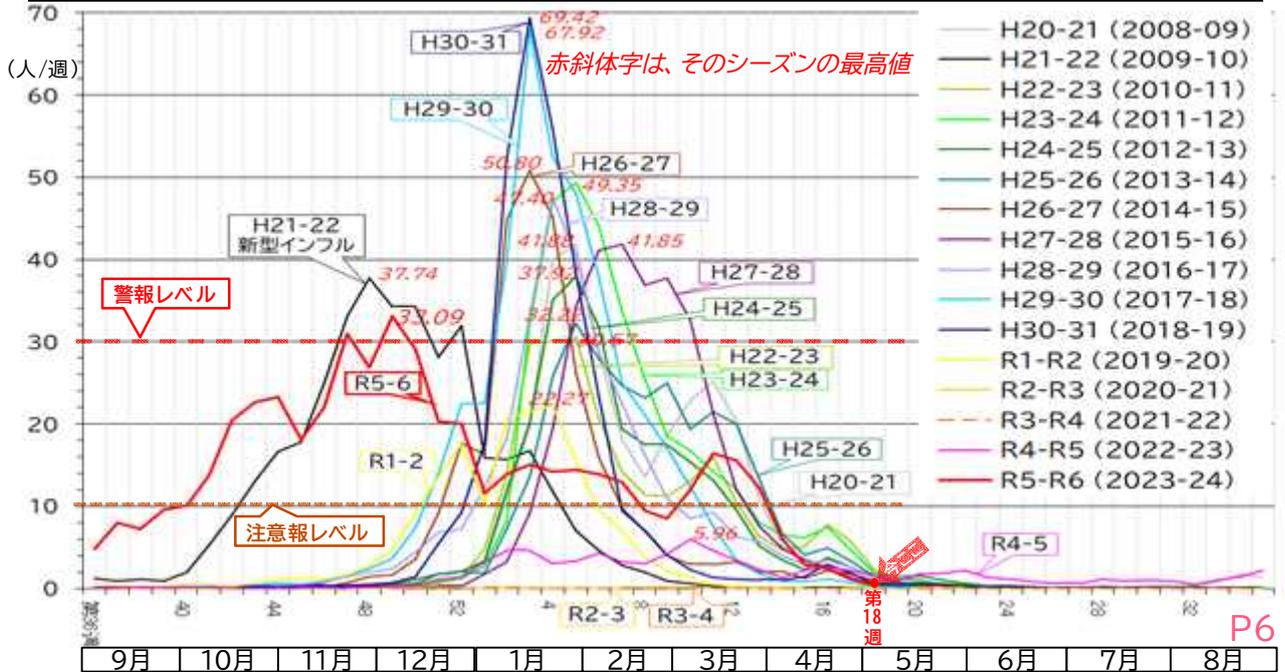


P4

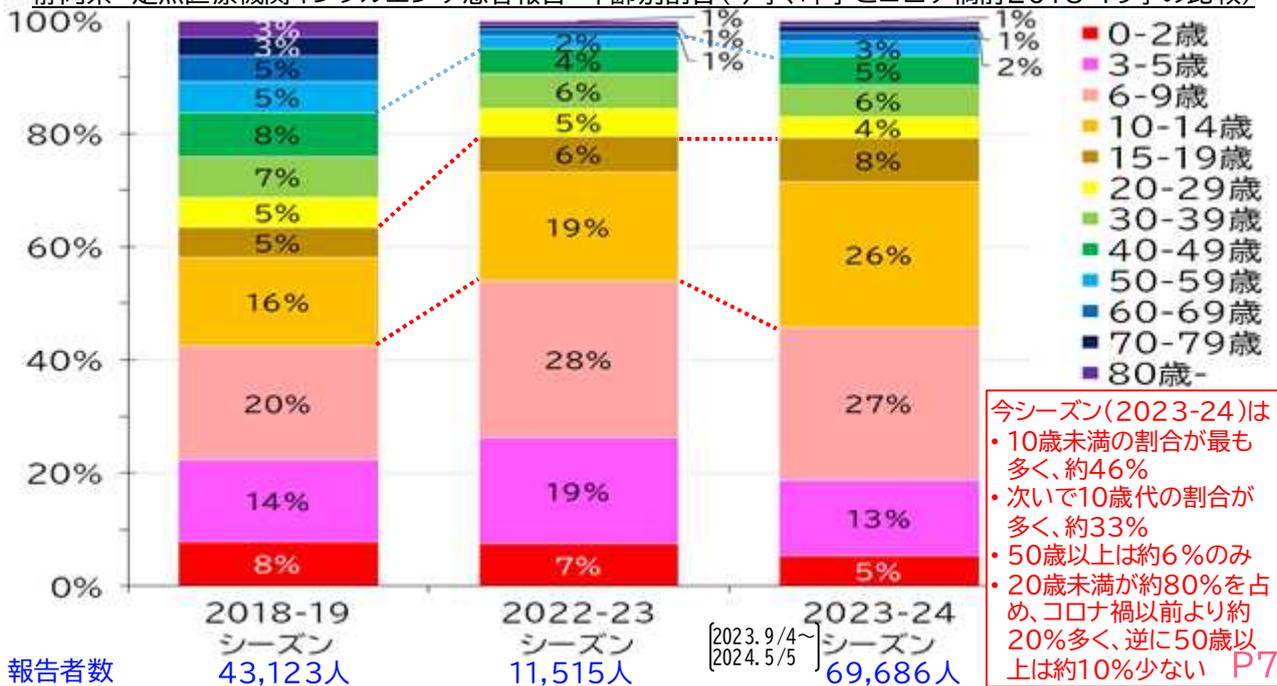
静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2023. 5/8~2024. 5/5)



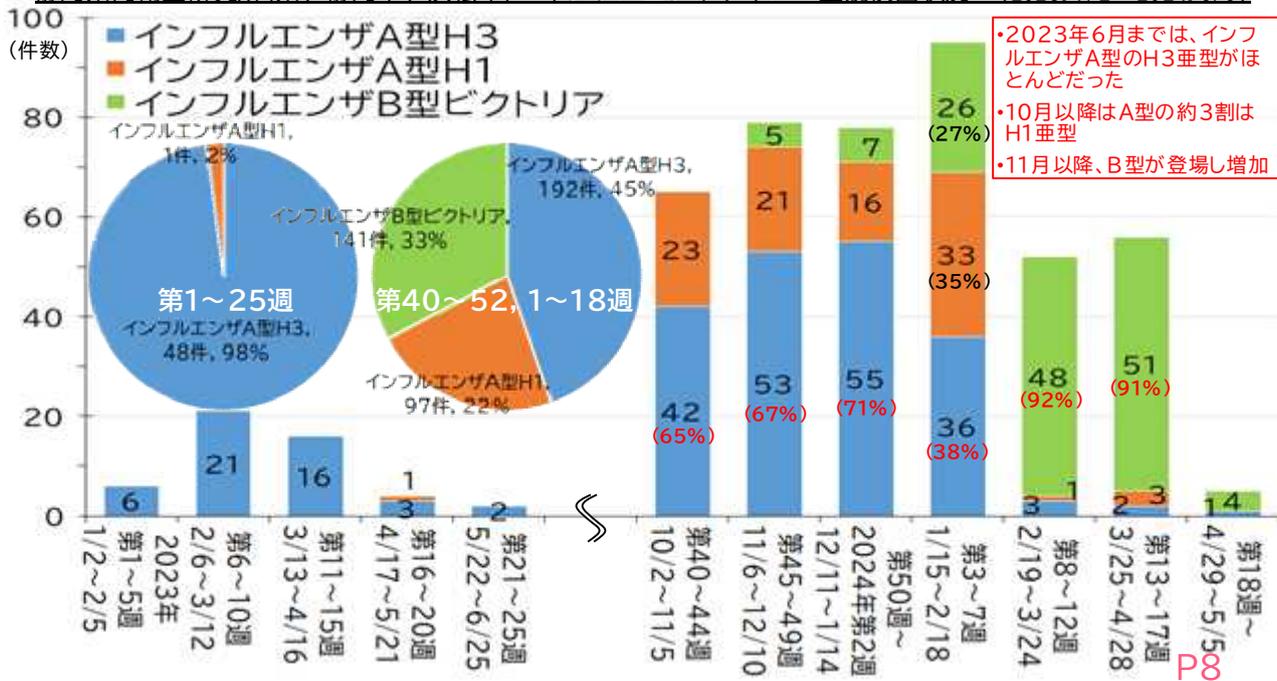
静岡県 インフルエンザ 定点医療機関からの報告者数 過去16シーズン比較



静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(今季、昨季とコロナ禍前2018-19季の比較)



静岡県内衛生研究所(県、静岡市、浜松市) インフルエンザウイルス型別検出状況 (2023.1/2~2024.5/5)



<インフルエンザ拡大防止のために県民の皆様へ>

ワクチンの接種について

- ・ インフルエンザによって高齢者や基礎疾患のある方は、重症化することがあり、乳幼児ではまれにインフルエンザ脳症を起こすことがあります。ワクチン接種により、死亡や入院の危険が減少するとされています。
- ・ 今シーズンのインフルエンザワクチンの供給量は、昨シーズンの使用量を超える供給量となります。
- ・ **65歳以上等の定期接種対象者で接種を希望する方は、お早めの接種をお願いします。**
- ・ **定期接種対象者以外でも、特に、基礎疾患のある方や、乳幼児、以前インフルエンザにかかってつらかった方は接種の御検討をお願いします。**

(インフルエンザワクチンの接種によって、インフルエンザの重症化を予防する効果や発症をある程度抑える効果が期待できる一方、接種時の体調によっては副反応などが生じる場合もありますので、かかりつけ医などと相談しつつ、接種を検討いただくようお願いいたします。)

- ・ なお、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時に接種できます。

「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- ・ 体調が悪い場合は、人が集まるイベントに参加することは控えましょう。
- ・ 人混みでは、**咳エチケット**（咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用するか、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- ・ インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- ・ 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- ・ こまめに手洗いをしましょう
- ・ なるべく密を避けましょう
- ・ 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

10 新型コロナ変異株ゲノム解析結果について

(3月25日(月)～4月21日(日)分の集計)

3月上旬～4月中旬に発症した方について、国立遺伝学研究所(三島市)において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。(県所管分)

(結果判明日: 3月25日(月)・4月5日(金)・4月14日(日)・4月19日(金))

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株 (内BA.2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (19)	34 (29)
(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内組換体)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)	(5)

本県の変異株の判明状況(4月21日時点)

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	10,853	6,183	2,392	2,278
	(前回からの増加数)	(72)	(34)	(10)	(28)
デルタ株 (R3.5.16～)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1～)	判明者数	8,442	4,927	1,744	1,771
	(前回からの増加数)	(72)	(34)	(10)	(28)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,637	805	457	375
	(前回からの増加数)	(62)	(29)	(7)	(26)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	816	482	106	228
	(前回からの増加数)	(10)	(5)	(3)	(2)

※県 : 国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市: 国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市: 浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（4月21日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA. 2	内、BA. 5	内、組換体	BA. 2	BA. 5	組換体
11月13日（月）～ 11月26日（日）	10	0	0	10	0.0%	0.0%	100.0%
11月27日（月）～ 12月10日（日）	7	0	0	7	0.0%	0.0%	100.0%
12月11日（月）～ 12月24日（日）	13	3	0	10	23.1%	0.0%	76.9%
12月25日（月）～ 1月28日（日）	75	43	0	32	57.3%	0.0%	42.7%
1月29日（月）～ 2月25日（日）	80	49	0	31	61.3%	0.0%	38.8%
2月26日（月）～ 3月24日（日）	63	50	0	13	79.4%	0.0%	20.6%
3月25日（月）～ 4月21日（日）	72	62	0	10	86.1%	0.0%	13.9%

ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む） （3月25日（月）～4月21日（日）判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	0	0.0%
BS. 1	0	0.0%
BA. 4. 6	0	0.0%
BQ. 1	0	0.0%
XBB	10	13.9%
BA. 2. 86	41	56.9%
XDQ	21	29.2%
その他	0	0.0%
計	72	100.0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」及び「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株 BA. 2. 86 系統について 第2報」において、「ウイルス学的、疫学的、臨床的知見、国内外での発生状況の監視を継続する必要がある」とされている系統を掲載しています。

※新型コロナのゲノム解析に関する項目については、当面の間、1か月に1回程度更新します。